

阪神・淡路大震災から25年 私たちは何を学び、 どこへ向かうのか

阪神淡路大震災25周年を機に、特に阪神淡路大震災から我々が学んだこと、
震災後の研究成果と、今後の安全・安心な社会のあり方を考えます。

〔プログラム〕

12:20 → 開場

12:30 → プレイベント

ポスター展示の事業活動をリレー方式で発表

●シンポジウム

13:40 → 開会挨拶

神戸大学長 武田 廣

13:45 → 来賓挨拶

国立大学協会 専務理事 山本 健慈

13:50

「地震動と土木構造物

～兵庫県南部地震がもたらしたもの～」

都市安全研究センター 教授 長尾 毅

14:10

「生活復興過程と事前の備え」

都市安全研究センター 教授 北後 明彦

14:30 → 休憩

ポスター展示場にて、
各事業担当者による説明および質疑応答

14:50

「メディアから見た震災と復興」

神戸新聞社 報道部デスク 畑野 士朗

15:10

「災害時のこころのケア」

医学研究科 教授 曾良 一郎

15:30

「大震災の記憶を 歴史として引き継ぐために」

人文学研究科 教授 奥村 弘

15:50

「将来のレジリエントな 都市に向けた取り組み」

都市安全研究センター 教授 飯塚 敦

16:10 → 閉会挨拶

12:20 ↓
16:10 ↓

ポスター展示

東日本大震災に係る研究活動(17事業)について、ポスターを
展示しています。シンポジウムの休憩時間には、ポスター前にて
各事業担当者が説明および質疑応答を行います。

令和2年

1 [水]
22

シンポジウム

13:40 → 16:15

開場

12:20

プレイベント(活動報告)

12:30 → 13:25

神戸大学
百年記念館
六甲ホール

兵庫県神戸市灘区
六甲台町1-1

〔定員〕

300名

〔参加費〕

無料

〔主催〕

国立大学法人神戸大学

〔共催〕

国立大学法人東北大学、国立大学法人
岩手大学、一般社団法人国立大学協会

〔後援〕

兵庫県、神戸市、公益財団法人ひょうご
震災記念21世紀研究機構、国際復興支援
プラットフォーム(IRP)、神戸新聞社、朝日
新聞神戸総局、産経新聞社、日本経済
新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK
神戸放送局、サンテレビジョン

フェスタ
国立大学2019



神戸大学

神戸大学 震災復興支援・災害科学研究推進室 第8回シンポジウム
阪神・淡路大震災から25年 ～私たちは何を学び、どこへ向かうのか～

お申込み期限

令和2年1月17日(金)までにお申し込みください。

※定員オーバーにより、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

※当日参加も可能ですが、定員になり次第、受付を終了しますので、是非事前にお申し込みください。

お申込み方法

E-mailの場合



件名を「1/22防災シンポジウム参加」とし、下記の参加申込書の内容を送信してください。

FAXの場合



下記の参加申込書にご記入の上、送信してください。

お申込み窓口

神戸大学 震災復興支援・災害科学研究推進室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

E-mail →

sfsk-jimu@office.kobe-u.ac.jp

F A X →

078-803-5049

開催場所

神戸大学百年記念館
六甲ホール

※阪急神戸線「六甲」駅、JR神戸線「六甲道」駅、阪神本線「御影」駅から、神戸市営バス36系統「鶴甲団地行」乗車～「神大文理農学部前」下車、南へ徒歩3分

※大学構内は駐車場の余裕がありませんので、公共交通機関にてお越しください。



【参加申込書】



E-mail

sfsk-jimu@office.kobe-u.ac.jp



FAX

078-803-5049

お申込者様	ふりがな	
	氏名	ご所属
	連絡先(E-mail/FAX)	
ご同伴者様	ふりがな	ふりがな
	氏名	氏名
	ふりがな	ふりがな
	氏名	氏名

※お申込みによる個人情報は、本シンポジウム運営以外には使用いたしません。